

天武天皇も経験した南海トラフ地震

太田隆次

政府が南海トラフの地震の巨大さと発生時期が近づいていると、規模と被害の大きさをシミュレーションして公表しました。もう予知や予想の域を超えてかなり現実味を帯びてきました。NHKはじめテレビ局が特集を組んでいます。

1. なぜ怖いのか

時期が迫っているから — 今から後 15 年たつと、いつ発生してもおかしくない。静岡県の駿河湾から九州南方沖まで続く、深さ約 4,000 メートルの海底のくぼみ「南海トラフ」で巨大地震が、ほぼ同じ間隔で発生しています。

1361 年以降の文献記録から約 100~150 年の周期で、この「南海トラフ」で巨大地震が発生していることが分かっています。今年は何回から約 70 年経過しています。

年代順に並べて見ると

1361 年	正平東海地震、正平南海地震	(137 年後に)
1498 年	明応地震	(107 年後に)
1605 年	慶長地震	(102 年後に)
1707 年	宝永地震	(147 年後に)
1854 年	安政地震	(90 年後に)
1944 年	昭和東南海地震	
1946 年	昭和南海地震	(89 年後に)
2035 年	これらの記録から 2035 年には 80% の確率で発生する	

2. 最古の南海トラフ巨大地震と推定されている地震の記録

「日本書紀」に天武天皇 13 年 10 月 14 日(西暦 684 年)に記述があり、南海トラ

フ巨大地震の最古の記録とみられています。原文の一部と現代語訳を紹介します。

原文	現代語訳
壬辰。逮于人定、大地震。	10月14日。夜10時、大地震あり。
則山崩河湧。	山崩れ、河は溢れた。
諸国郡舎及百姓倉屋根。	諸国の郡の官舎や百姓の倉庫や家屋や
寺塔。神社。破壊之類。	寺塔、神社が多く倒壊した。
由是人民六畜多死傷之。	是により、人民や家畜が多く死傷した。
時伊予温泉没而不出。	伊予温泉(道後温泉)が埋もれ、湧出が止まった。
土左国田苑五十余万頃。没為海。土佐では田畑50余万頃(約1000町歩)が海中	に没した。(一頃は百畝)
土左国司言。大潮高騰。	土左の国司が言うには、津波が襲来した。
由是運調船多放失。	是により調(物納)を運ぶ船が多数流失した。

1350年も昔の巨大地震の怖さは今も同じですね。